君の名は。８（聖地裏解説）

～一行院千日公会堂～

■ 一行院千日谷会堂 2.69km － 宮中三殿賢所 － 創価学会広宣流布大誓堂 2.69km
■ 一行院千日谷会堂舎利塔 2.71km － 宮中三殿賢所 － 増上寺 2.71km

■ 朝鮮総連中央本部 2.71km －創価学会総広宣流布大誓堂 － 宮中三殿神殿 2.71km
■ 〃 － 六本木ルーテル教会 2.71km

一行院千日谷会堂

創建は江戸時代の初期（慶長年間）にまで遡る。開山の利覚は赤坂・浄土寺の第 9 世であった。開基は永井直勝で、永井家はこの地に下屋敷を拝領した。同家当主は代々信濃守を名乗り、同地一帯の地名信濃町の由来になっている。永井家の家臣で後に同院の僧になった故念が、千日回向の供養を務めたことから同院は千日寺と号するようになり、付近一帯の谷状の街は「千日谷」（せんにちだに）と呼ばれるようになった。本尊の阿弥陀如来像は元禄 2 年の作である。一行院は、かつては敷地面積約 2000 坪を誇る大寺院であった

が、明治時代には隣接して JR 信濃町駅が出来たため寺域が狭められ、昭和時代には JR 線の線路に隣接して首都高速 4 号線が出来たため、より敷地が狭められ、往時の様相は見られなくなった。その首都高が完成した頃の 1962 年（昭和 37 年）に千日谷会堂が完成した。
東京都新宿区南元町１９−２

皇居 宮中三殿

宮中三殿は、皇居内にある三つの連結された建造物の総称である。それぞれ、神道の神を祀っており、宮中祭祀（皇室祭祀）の中心となる。宮中三殿のうち賢所は古代から宮中で奉斎されてきましたが、皇霊殿と神殿は、明治維新以降の宮中祭祀制度の再編成によって新たに宮中に遷座・奉斎されたものです。

神殿は、天神地祇八百万神が奉斎されている御殿で、明治５年３月に神祇省の廃止と共に宮中に遷座したのがその始まりで、三殿の中では最も後に成立しました。前項で記しましたように、明治２年６月、明治天皇は国是の確立を、天照大御神はじめ天神地祇八百万神と、神武天皇から孝明天皇に至るまでの歴代天皇の皇霊に御奉告のため、神祇官に霊代を設け招き祭らしめられ、御拝されました。そして同年、神祇官に神殿を設ける事が決まり、同年１２月に仮神殿が竣工し、その中央の座に八神を、東の座に天神地祇を、西の座に歴代天皇の皇霊がそれぞれ奉斎され、鎮座祭が斎行されました。明治４年８月、神祇官が廃され神祇省が置かれ、それに伴い神祇省に継承された神殿（西の座）に奉斎されていた歴代天皇の皇霊は宮中賢所に奉遷されましたが、八神と天神地祇は引き続き神祇省の神殿にお祀りされました。しかし、翌５年に神祇省が廃止され新たに教部省が置かれる事になり、そのため同年３月、神祇省神殿に奉斎されていた八神と天神地祇を宮中に遷し仮に賢所拝殿に奉安せしめ給う旨仰せ出され、それを受けて同年４月、神祇省の神殿に奉斎されていた八神と天神地祇、及び京都の神祇伯白川家、神楽岡の吉田家斎場、有栖川宮家の旧邸と新邸にそれぞれ鎮座されていた八神を、御羽車に移し、賢所拝殿に奉遷しました。翌５年、八神と天神地祇の両座を合祀して一座とし、「神殿」と改称され、これによって現在の宮中三殿の原型が成立しました。東京都千代田区千代田１−１

賢所平面図
（「皇室祭祀百年史」より）

創価学会本部広宣流布大誓堂

創価学会（そうかがっかい）は、日本の宗教法人。法華経系の在家仏教の団体で、国内に公称 827 万世帯を擁する。「創価」とは「価値創造」の意味。創価学会は価値の中心に「生命の尊厳」の確立を置き、それに基づいた「万人の幸福」と「世界の平和」の実現を目標としている。1930 年（昭和 5 年）に創立し、1952 年（昭和 27 年）に宗教法人の資格を取得。1975 年（昭和 45 年）には創価学会インタナショナル（SGI）を発足させ、現在、日本を含む世界 192 カ国・地域に 1200 万人を超える会員を擁している。
東京都新宿区信濃町３２

増上寺

空海の弟子・宗叡が武蔵国貝塚（今の千代田区麹町・紀尾井町あたり）に建立した光明寺が増上寺の前身だという。その後、室町時代の明徳 4 年（1393 年）、浄土宗第八祖酉誉聖聡（ゆうよしょうそう）の時、真言宗から浄土宗に改宗し、寺号も増上寺と改めた。この聖聡が、実質上の開基といえる。開基聖聡の弟子には、松平氏宗家第三代松平信光開基の信光明寺開山釋誉存冏（そんげい）や、松平氏宗家第四代松平親忠開基の大恩寺開山了暁（りょうぎょう）慶善がおり、また松平親忠の第四子で、浄土宗総本山知恩院 25 世の超誉存牛や、徳川将軍家菩提寺大樹寺開山の勢誉愚底（せいよぐてい）はいずれも聖聡の孫弟子であり、中世から松平氏や徳川氏とのつながりが深かった。風水学的には、寛永寺を江戸の鬼門である上野に配し、裏鬼門の芝の抑えに増上寺を移したものと考えられる。明治時代には半官半民の神仏共同教導職養成機関である大教院の本部となり大教院神殿が置かれた。のち明治 7 年（1874 年）1 月 1 日排仏主義者により放火される。徳川幕府の崩壊、明治維新後の神仏分離の影響により規模は縮小し、境内の広範囲が芝公園となる。太平洋戦争中の空襲によって徳川家霊廟、五重塔をはじめとした遺構を失う大きな被害を受けた。東京タワーの建設時、増上寺は墓地の一部を土地として提供している。

東京都港区芝公園４丁目４−７−３５

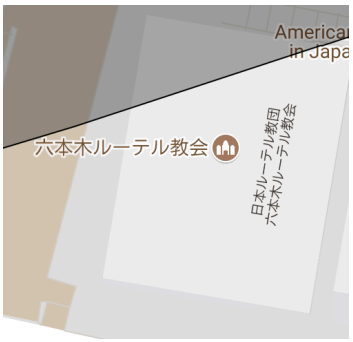
在日本朝鮮人総連合会

朝鮮民主主義人民共和国を支持する在日朝鮮人のうち、「主体(チュチェ)思想」を指導的指針としてすべての活動、運動を展開しているとする人々で構成される団体。1945 年（昭和 20 年）結成の在日朝鮮人連盟が GHQ によって「暴力主義的団体」として解散させられた後、新たに設立された在日朝鮮統一民主戦線を経て 1955 年に設立。略称は朝鮮総聯で一般にこの名称で呼ばれることが多い。報道などでは朝鮮総連とも表記される。最高責任者は、2012 年より許宗萬中央常任委員会議長が務める。法人格がない「権利能力なき社団」。朝鮮総連中央議長を始めとする数名の幹部は北朝鮮の代議員（国会議員）を兼任している。過去に複数の元構成員が土台人となって北朝鮮問題に関与し、祖国防衛隊事件や文世光事件を引き起こした歴史的経緯から、公安調査庁から破壊活動防止法に基づく調査対象団体に指定されている。

朝鮮総連は金正日に忠誠を誓う北朝鮮の出先機関である。かねてよりスパイ容疑、麻薬の密輸などが疑われ、日本人拉致事件に直接関与した事が明らかになっている。また、朝銀への公的資金投入後も朝銀より資金を吸い上げ北朝鮮へ資金供給し、在日のパチンコ屋を筆頭とする商工業者から多額の不正送金を行っていた。

東京都千代田区富士見２丁目１４−１５

六本木ルーテル教会



日本ルーテル教団は、米国ルーテル教会ミズーリ・シノッドが 1948 年 9 月 19 日に東京チャペル・センターでウィリアム・ダンカー宣教師の就任式を行い、日本宣教開始を公式に宣言したことに始まります。ルーテル教会とは、新約聖書の伝統に立ち、中世の教会が聖書の信仰から離れていたとき、宗教改革の炎をもって立ち上がったマルティン･ルター（1483-1546）の宗教改革によって再発見された福音の教えの上に立つ教会であります。宗教改革以来、数百年のプロテスタント教会で、特に北ヨーロッパではルーテル教会が代表的な教会になっています。

六本木ルーテル教会は、1948 年に発足した聖書研究会（後に麻布聖泉ルーテル教会となる）と、1950 年に献堂された目黒マルチン･ルーテル教会が合併して与えられた､70 年近くに及ぶ歴史と伝統がある。
東京都港区六本木６丁目１６−４４

備考

アニメ映画「君の名は。」創価シティの信濃町が舞台となっていること自体が怪しいと思っていたが、さすがに直接創価学会を描いてはいない。しかし、しっかり繋がっていた。

見た人が訪ねる聖地の一つに信濃町駅前の歩道橋があり、多くのファンの撮影ポイントとなっている。そこで写真を撮れば必ず一行院千日谷会堂が映る。（上記写真を参考）
創価学会は一行院千日谷会堂と同距離になることで宮中三殿より気を引き寄せることができている。

そして創価学会と朝鮮総連もやはりしっかり繋がっていた。
ルーテル教会も創価学会と同じ頃に作られている。